

情報電子工学科 論文発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員および研究員、※は大学院生、卒研生または卒業生

題名	「物語」導入型教材コンテンツを活用したセルフラーニング型授業 – オブジェクト指向プログラミング教育における実践例 –
掲載雑誌	教育システム情報学会誌
著者	高井久美子, 佐々木茂, 渡辺博芳, 荒井正之, 武井恵雄
概要	<p>短い物語によって学習内容へ導入する教材コンテンツを活用した自己学習型授業を実践した。物語による導入は、学習対象となる概念が用いられる仮想的な状況設定を学習者が理解するのを補助する効果があると考えられる。また、学習者が学習内容に親しみを持つ効果も期待できる。我々はオブジェクト指向プログラミングを対象として、物語導入型教材コンテンツを作成し、セルフラーニング型授業を実践した。セルフラーニング型授業とは、学生が自分のペースで学び、自己学習力を習得することを旨としたオンキャンパスの個別学習型授業である。4年間の実践において継続的に学生にアンケート調査を行うとともに、我々が従来行っていた授業と物語導入型教材を用いたセルフラーニング型授業において学生が作成したプログラムを比較した。その結果、物語による導入は、オブジェクト指向が適用される問題状況を学習者が理解し、学習内容の深い理解を補助するのに有効であることが示された。また、二つのセルフラーニング型授業を受講した学生の予習に対して姿勢が積極的になったことから、セルフラーニング型授業が自己学習力の育成に有効であることも示唆された。</p>